

《参考》

ナ シ ム 長崎・ヒバクシャ医療国際協力会 (NASHIM) の概要

○代表者 会長 森崎 正幸（長崎県医師会会長） （平成30年度 就任）

○設立目的

在外被爆者及び世界各地で発生している放射線被曝事故による被災者の救済を目的として、1992年（平成4年）に設立。

長崎が有する被爆者治療の実績及び放射線被害に関する調査研究の成果をこれらのヒバクシャの医療に有効に活かしてもらうため、国外からの医師等の受入研修や国外への専門医師等の派遣及びヒバクシャ医療に関する専門図書等の発刊・寄贈などを実施し、ヒバクシャ医療を通じて長崎から世界への貢献と国際協力の推進に努めている。

○組 織

長崎県、長崎市、長崎大学、日本赤十字社長崎原爆病院、放射線影響研究所、原子爆弾被爆者対策協議会、長崎県医師会、長崎市医師会、長崎平和推進協会等のヒバクシャ医療に携わる関係機関で構成。それぞれの機関から理事、運営委員等を選出し事業を実施している。

○出前講座の内容

○対象 小学5年生～中学3年生

○授業メニュー

1. 講義（1セット90分、短縮可）

セット	タイトル(予定)	講 師
1	こわい？ こわくない？ 放射線のふしぎ	西 弘大 先生
2	放射線を浴びたらどうなるの？ 体の中をのぞいてみよう！	阿部 悠 先生
3	長崎原爆の話・原爆直後の救護活動と調査	三根 眞理子 先生
4	長崎原爆の話・長崎原爆被爆者のこころの調査	三根 眞理子 先生

2. 実習（1セット90分、短縮可）

セット	タイトル(予定)	講 師
1	【実習】測ってみよう放射線	西 弘大 先生 阿部 悠 先生